岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道の布設工事等を定める条例等の一部を改正する条例等について

岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道の布設工事等を定める条例等の一部を改正する条例を次のように定めるものとする。

令和七年二月二十一日提出

岐阜県知事 江崎 禎 英

岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道の布設工事等を定める条例等の一部を改正する条例

(岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道の布設工事等を定める条例の一部改正)

第一条 岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならぬ水道の布設工事等を定める条例(平成二十四年岐阜県条例第六十二号)の一部を次のように改正する。

第三条第一号中「」を「」において「」に改め、「」において衛生工学若しくは水道工学に関する学科目」を削り、「二年以上水道」を「三年以上水道、工業用水道、下水道、道路又は河川(以下この条において「水道等」という。)」に改め、「者」の下に「(一年六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)」を加え、同条第二号中「土木工学科又はこれに相当する課程において衛生工学及び水道工学に関する学科目以外の学科目」を「において機械工学科若しくは電気工学科又はこれらに相当する課程」に、「三年以上水道」を「四年以上水道等」に改め、「者」の下に「(二年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)」を加え、同条第三号中「高等専門学校」の下に「(次号において「短期大学等」という。)」を、「修了した後」の下に「。次号において同じ。」を加え、「水道」を「水道等」に改め、「者」の下に「(二年六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)」を加え、同条第八号中「もの」を「者」に、「水道に」を「水道等に」に、「有する者」を「有するもの(六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。)」に改め、同号を同条第十号とし、同条第七号中「第一号若しくは第二号に規定する課程及び学科目又は第三号若しくは第四号」を「第一号から第六号

まで」に改め、「又は学科目」を削り、「水道」を「水道等」に改め、「者」の下に「（それぞれ当該各号に規定する水道等の最低経験年数の二分の一以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）」を加え、同号を同条第九号とし、同条第六号中「又はこれ」を「、機械工学科若しくは電気工学科又はこれら」に、「に関する課程」を「の課程」に、「学校を卒業した者にあつては一年」を「卒業者については二年」に、「学校を卒業した者にあつては三年以上水道」を「卒業者については三年以上水道等」に、「有する者」を「有するもの（第一号に規定する卒業者については一年以上、第二号に規定する卒業者については一年六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）」に改め、同号を同条第八号とし、同条第五号中「水道」を「水道等」に改め、「者」の下に「（五年以上水道の工事に係る技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）」を加え、同号を同条第七号とし、同号の前に次の一号を加える。

六 高等学校等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、八年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者（四年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）

第三条第四号中「中等教育学校」の下に「（次号において「高等学校等」という。）」を加え、「水道」を「水道等」に改め、「者」の下に「（三年六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）」を加え、同号の前に次の一号を加える。

四 短期大学等において機械科若しくは電気科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、六年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有する者（三年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）

第三条に次の一号を加える。

十一 建設業法施行令（昭和三十一年政令第二百七十三号）第三十七条第一項及び第二項の規定による土木施工管理に係る一級の技術検定に合格した者であつて、三年以上水道等に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの（一年六月以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。）

第四条第一項第一号を次のように改める。

一 前条第一号、第三号又は第五号に規定する学校において土木工学科若しくは土木科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後（学校教育法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した後）、同条第一号に規定する学校を卒業した者については三年以上、同条第三号に規定する学校を卒業した者（同法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した者）については五年以上、同条第五号に規定する学校を卒業した者については七年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者

第四条第一項第二号から第八号までを削り、同項第九号中「第一号、」を「前条第一号、」

に、「及び第四号」を「又は第五号」に改め、「土工学以外の」を削り、「に関する学科目又はこれらに相当する学科目」を「の課程又はこれらに相当する課程（土工学科及び土木科並びにこれらに相当する課程を除く。）」に、「第一号に」を「同条第一号に」に、「第三号に」を「同条第三号に」に、「第四号」を「同条第五号」に改め、同号を同項第二号とし、同号の次に次の一号を加える。

三 十年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者

第四条第一項第十号中「第一号、」を「前条第一号、」に、「及び第四号」を「又は第五号」に、「に関する学科目」を「の課程」に、「学科目以外の学科目」を「課程以外の課程」に、「第一号に」を「同条第一号に」に、「第三号に」を「同条第三号に」に、「第四号」を「同条第五号」に改め、同号を同項第四号とし、同項第十一号中「第九号」を「第一号若しくは第二号」に、「学科目」を「課程」に改め、「卒業した者」の下に「（学校教育法による専門職大学の前期課程にあつては、修了した者）」を加え、同号を同項第五号とし、同項第十二号を同項第六号とし、同項に次の二号を加える。

七 技術士法第四条第一項の規定による第二次試験のうち上下水道部門に合格した者（選択科目として上水道及び工業用水道を選択した者に限る。）であつて、一年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの

八 建設業法施行令第三十七条第一項及び第二項の規定による土木施工管理に係る一級の技術検定に合格した者であつて、三年以上水道に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの

第四条第二項中「千立方メートル」を「一万立方メートル」に改め、「二年」とあるのは「一年」と、同項第二号中、「同項第三号中」及び「同項第四号中」を削り、「同項第五号中」「十年」とあるのは「五年」と、同項第六号中「あつては一年」とあるのは「あつては六月」と、「二年」とあるのは「一年」と、同項第七号中「最低経過年数」とあるのは「最低経過年数の二分の一」と、同項第八号中「一年」とあるのは「六月」と、同項第九号を「同項第二号」に、「同項第十号」を「同項第三号中」「十年」とあるのは「五年」と、同項第四号に、「同項第十一号」を「同項第五号」に、「読み替える」を「同項第七号中」「一年」とあるのは「六月」と、同項第八号中「三年」とあるのは「一年六月」と読み替える」に改める。

（岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならない水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例の一部改正）

第二条 岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならない水道の布設工事等を定める条例の一部を改正する条例（平成三十一年岐阜県条例第十七号）の一部を次のように改正する。

附則第二項中「改正後の第三条第八号及び第四条第一項第八号」を「岐阜県営水道用水供給事業において技術上の監督業務を行わせなければならない水道の布設工事等を定める条例第

三 条 第十号及び第四 条第一 項第七号」に改める。

附 則

この 条 例 は、令 和 七 年 四 月 一 日 から 施 行 す る。

提 案 説 明

水 道 法 施 行 令 の 一 部 改 正 に 伴 い、 県 営 水 道 用 水 供 給 事 業 に お け る 布 設 工 事 監 督 者 の 資 格 要 件 を 見 直 す 等 の た め、 此 の 条 例 を 定 め よ う と す る。